

### 総括

- 期間**  
 第6波：令和4年1月2日～6月19日（年明けに新規感染者が29日ぶりに確認された日から「医療警報」の終了日まで）  
 まん延防止等重点措置の適用（1/21～3/6）  
 第7波：令和4年6月20日～10月4日（上記「医療警報」終了の翌日から「医療緊急警報」の終了日まで）  
 県独自の医療非常事態宣言（8/11～9/21） BA.5対策強化地域の指定（8/4～9/21）
- 感染状況等**
  - オミクロン株の流行で感染者が急増、特に第7波ではBA.5系統の流行で、爆発的な感染拡大に直面
  - 年明け最初の感染拡大までは、全国平均より感染が下回っていたが、年度替わり以降は上回る状況が継続
  - お盆明けの第7波のピーク時には1日の新規感染者数が4千人を超え、小児科や救急を中心に外来がひっ迫
  - 直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数も一時全国ワースト1位を記録
  - 第6波・第7波ともに年代別では、10歳未満や10代の感染者が多い状況
  - 感染拡大期において「みなし陽性」の取扱いを運用するとともに、陽性者登録センターを設置・運営
  - 入院の割合は大きく低下したものの、入院者数は増加し、医療従事者の欠勤等も相まって病床もひっ迫
  - 全年代で入院率は低下、若者のリスクは大きく低下する一方で、高齢者のリスクは引き続き高い状況
  - 重症率、致死率も低下したが、高齢者を中心に多数の死者が発生（入院前からの基礎疾患の悪化など、肺炎以外の疾患が死亡の直接的な要因であるケースが多い）
  - 保健所機能の維持を図るため、積極的疫学調査を重点化し、フォローアップセンターを設置・運営
  - Withコロナに向けた新たな段階への移行として、国の方針により、陽性者の自宅療養や濃厚接触者の待機期間が短縮されるとともに、9/26より全数届出の見直しが全国一律で導入

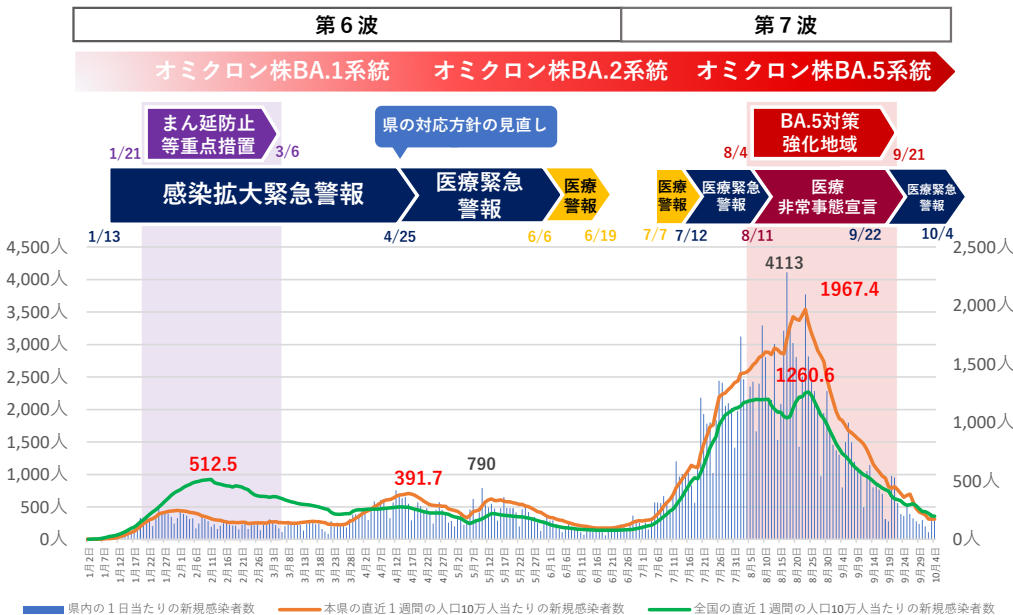
### 主な取組状況

- 検査体制**
  - 感染に不安を感じる県民向けの無料検査の実施（1/8～78カ所） ・ 「みなし陽性」の導入（7/23～9/25）
  - 国の通知を踏まえた行政検査の重点化（3/16～） ・ 陽性者登録センターの設置（8/8～）
- 医療提供体制**
  - 入院受入病床の確保（最大381床） ・ 宿泊療養施設の確保（500室）
  - 外来診療受入医療機関の確保（74医療機関） ・ 重症化予防センターの設置（1/28～5/21）
  - 回復期患者の転院受入を行う後方支援病院の確保（67医療機関）
  - 自宅療養者に対する医師・看護師による健康観察の実施（協力医師98人、協力訪問看護ステーション71施設）
  - 自宅療養者フォローアップセンターの設置（4/19～） ・ 自宅療養者への食料や生活用品の配布（55,490人）
  - 治療薬処方体制の確保 ・ 自宅療養者初期治療センターの設置（8/8～9/25）
- 飲食店等対策**
  - 営業時間短縮要請の実施（都城市・三股町：1/16～3/6、宮崎市・延岡市：1/21～3/6、その他：1/25～3/6）
  - 「まん延防止等重点措置」の適用に伴う酒類提供停止要請の実施
  - 営業時間短縮要請に応じない飲食店等への特措法に基づく命令等の実施（命令・過料事件通知・命令決定各20店）
  - ※第5波：命令15店、過料事件通知・過料決定各13店
  - ひなた飲食店認証制度の運用（認証店舗数：5,609店舗） ・ ひなた認証お食事券の発行
- 高齢者施設対策**
  - 抗原検査キットの配布による職員向けの検査の実施
  - 地域の協力医師やICN（感染管理認定看護師）の派遣 ・ 感染防止対策事例集の作成・配布
  - 嘱託医等の対応強化に向けたオンライン研修の実施 ・ 高齢者施設等に往診を行う医療機関の確保（34医療機関）
- 学校・保育施設対策**
  - 文科省の衛生管理マニュアルに基づく感染防止対策の徹底 ・ 代替保育を実施する市町村に対する財政支援
  - 感染防止対策取組事例集の作成・配布 ・ 保護者に対する家庭での感染防止対策の協力要請
- ワクチン接種の促進**
  - 若者の接種率向上に向けた啓発の実施（テレビCM、SNS広告等） ・ 夜間・休日接種の実施
  - 追加接種センターの設置（健康プラザ、イオンモール） ・ 「小児ワクチン接種促進月間」の設定（9月）

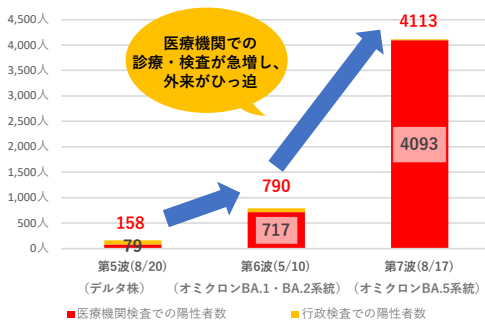
### 今後の主な対策

- 検査体制の拡大**
  - 高齢者施設等における感染の早期発見、拡大防止のための集中的な検査体制の構築
  - 感染に不安を感じる県民向けの無料検査体制の確保 ・ 新たな変異株の発生動向の監視
- 保健医療体制の強化**
  - インフルエンザとの同時流行に備えた外来医療体制の拡充
  - 感染状況等に応じて必要な入院受入病床の確保 ・ 高齢者施設等に対する医療支援
- ワクチン接種のさらなる促進**
  - オミクロン株対応ワクチンの接種促進 ・ 小児・乳幼児のワクチン接種促進

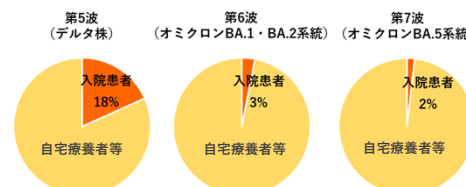
### ■感染の状況



### ■医療機関検査での陽性者数（1日当たり最大）

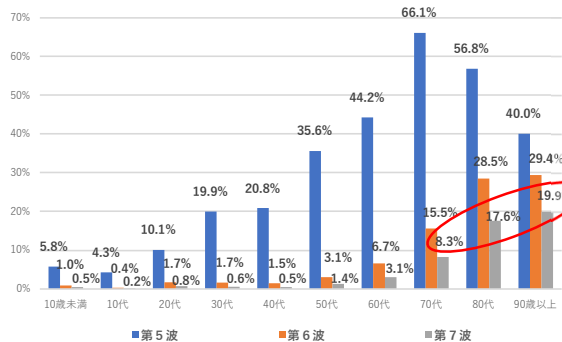


### ■入院の状況

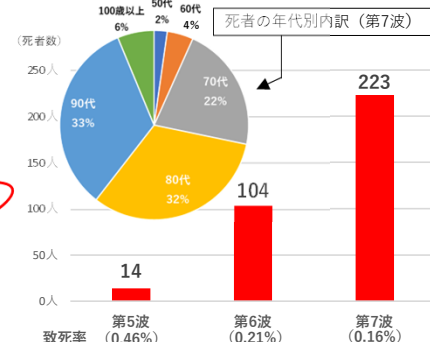


|              | 第5波    | 第6波     | 第7波      |
|--------------|--------|---------|----------|
| 総感染者数        | 3,070人 | 50,344人 | 140,036人 |
| 総入院者数        | 561人   | 1,598人  | 3,022人   |
| 1日の入院患者数（最大） | 155人   | 115人    | 178人     |
| 病床使用率（最大）    | 50.5%  | 42.4%   | 53.6%    |

### ■年代別入院率の状況



### ■死者の状況



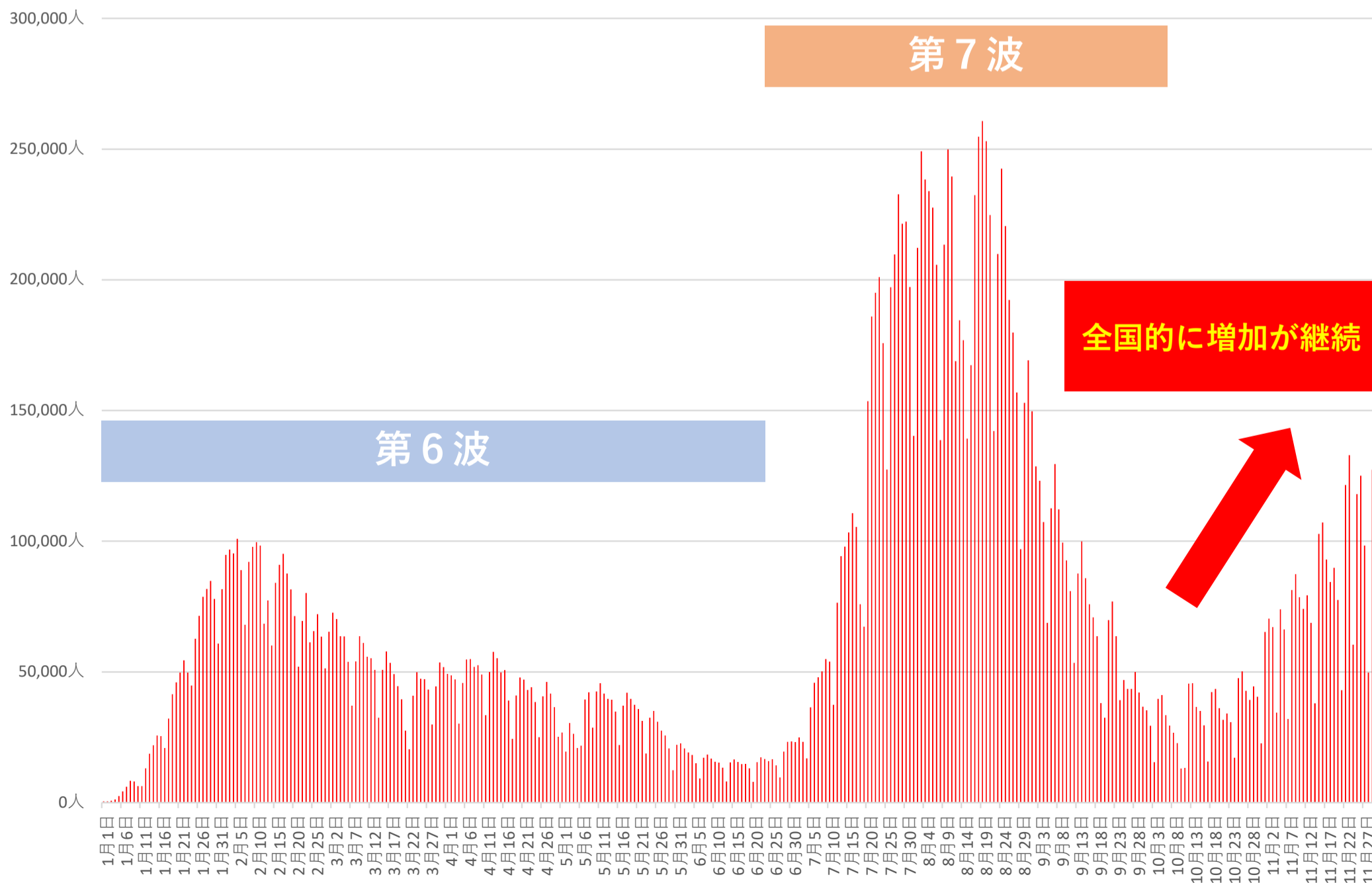
# 国の新たなレベル分類と県の対応

- 国において、新たなレベル分類の見直しが行われ、今後オミクロン株と同程度の感染力・病原性の変異株による感染拡大が生じ、保健医療の負荷が高まった場合への対応方針が決定されたところ。
- 県では、国の方針を踏まえつつ、本県のぜい弱な医療提供体制に鑑み、県の対応方針に基づき、引き続き早め早めに警報等を発令し、県民への注意喚起や必要な行動要請等を行う。

| 国のレベル分類                                 |  | 県の対応   |
|---|--|--|
| <b>レベル4</b><br><small>(医療機能不全期)</small> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・膨大な数の感染者で一般外来にも患者が殺到</li> <li>・救急車を要請しても対応できず、通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態</li> <li>・多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫</li> </ul> <b>【病床使用率/重症病床使用率 概ね80%超】</b>  | <b>病床使用率/重症病床使用率 50%超</b><br>又はそのおそれがある場合<br>(感染状況等も踏まえ総合的に判断)   |
| <b>レベル3</b><br><small>(医療負荷増大期)</small> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱外来や救急外来に多くの患者が殺到(重症化リスクの高い方がすぐに受診できない事象が発生)</li> <li>・救急搬送困難事例が急増</li> <li>・入院患者も増加し、医療従事者にも欠勤者が多数発生</li> </ul> <b>【病床使用率/重症病床使用率 概ね50%超】</b><br>→国が「 <b>医療ひっ迫防止対策強化地域</b> 」へ指定<br>→感染拡大が続き、医療機能が不全に至る恐れがある場合、国が「 <b>医療非常事態地域</b> 」へ指定 | <b>【第一段階】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>医療非常事態宣言</b>」を発令</li> <li>・「<b>医療ひっ迫防止対策強化地域</b>」への指定を国へ要請</li> </ul> <b>【第二段階】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>医療非常事態地域</b>」への指定を国へ要請</li> </ul> <国の想定対応例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外出・移動は必要不可欠なものに限ること(出勤大幅抑制、帰省・旅行の自粛)を要請</li> <li>・イベントの延期等の慎重な対応を要請(飲食店や施設の時短・休業は要請しない)</li> <li>・学校の授業は継続、部活動の大会や学校行事等は開催方式の変更等を含め慎重な対応を要請</li> </ul> |
| <b>レベル2</b><br><small>(感染拡大初期)</small>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱外来の患者数が急増</li> <li>・救急外来の受診者数も増加</li> </ul> <b>【病床使用率 概ね30~50%】</b>  | <b>病床使用率/重症病床使用率 25%超</b><br>又はそのおそれがある場合<br>(感染状況等も踏まえ総合的に判断)   |
| <b>レベル1</b><br><small>(感染小康期)</small>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来医療・入院医療ともに負荷が小さい</li> </ul> <b>【病床使用率 概ね20~30%】</b>  | <b>病床使用率/重症病床使用率 15%超</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>医療警報</b>」を発令</li> </ul>  |

29日時点

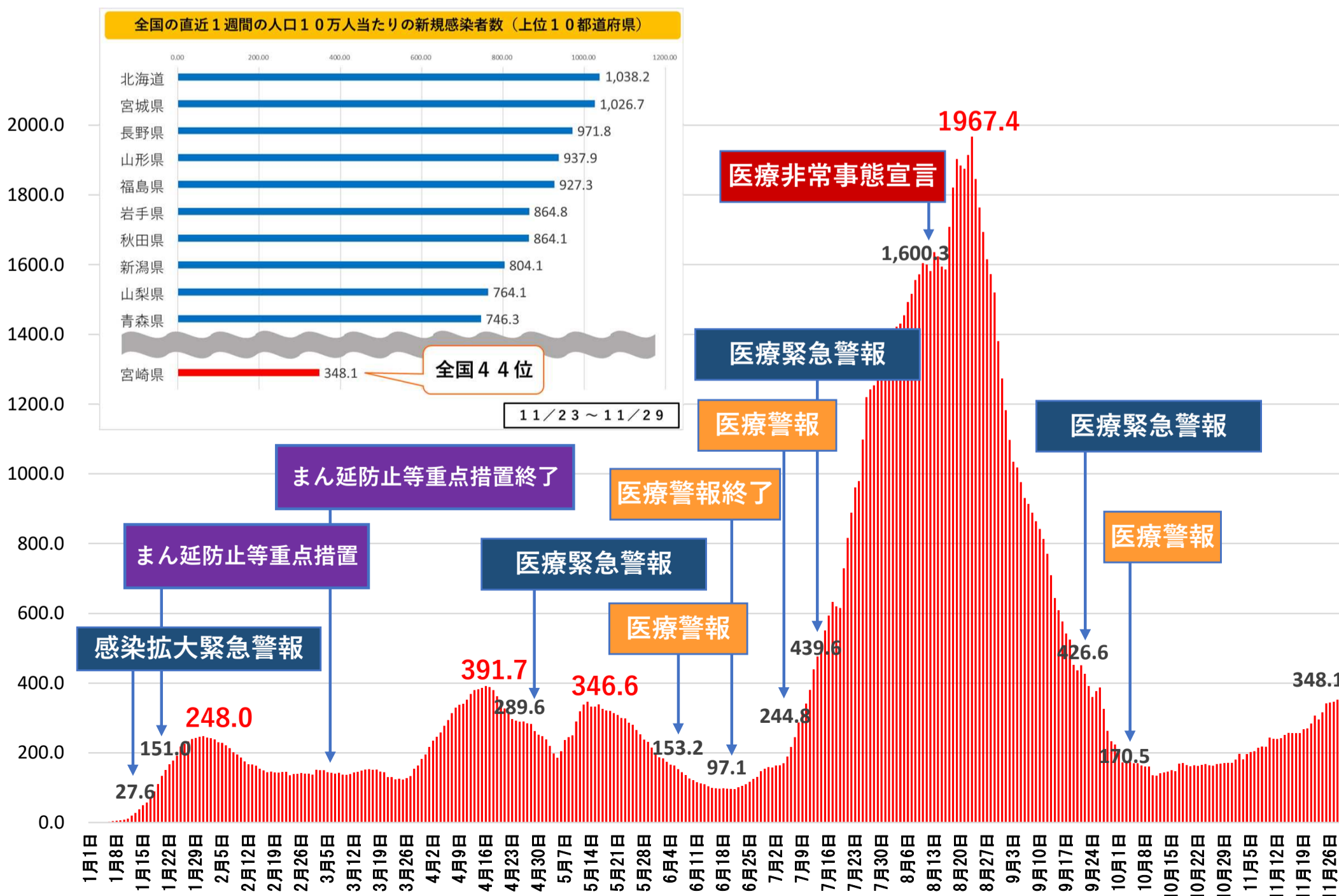
## 全国の感染状況 (1日当たりの新規感染者数)



# 1日当たりの新規感染者数（前週との比較）

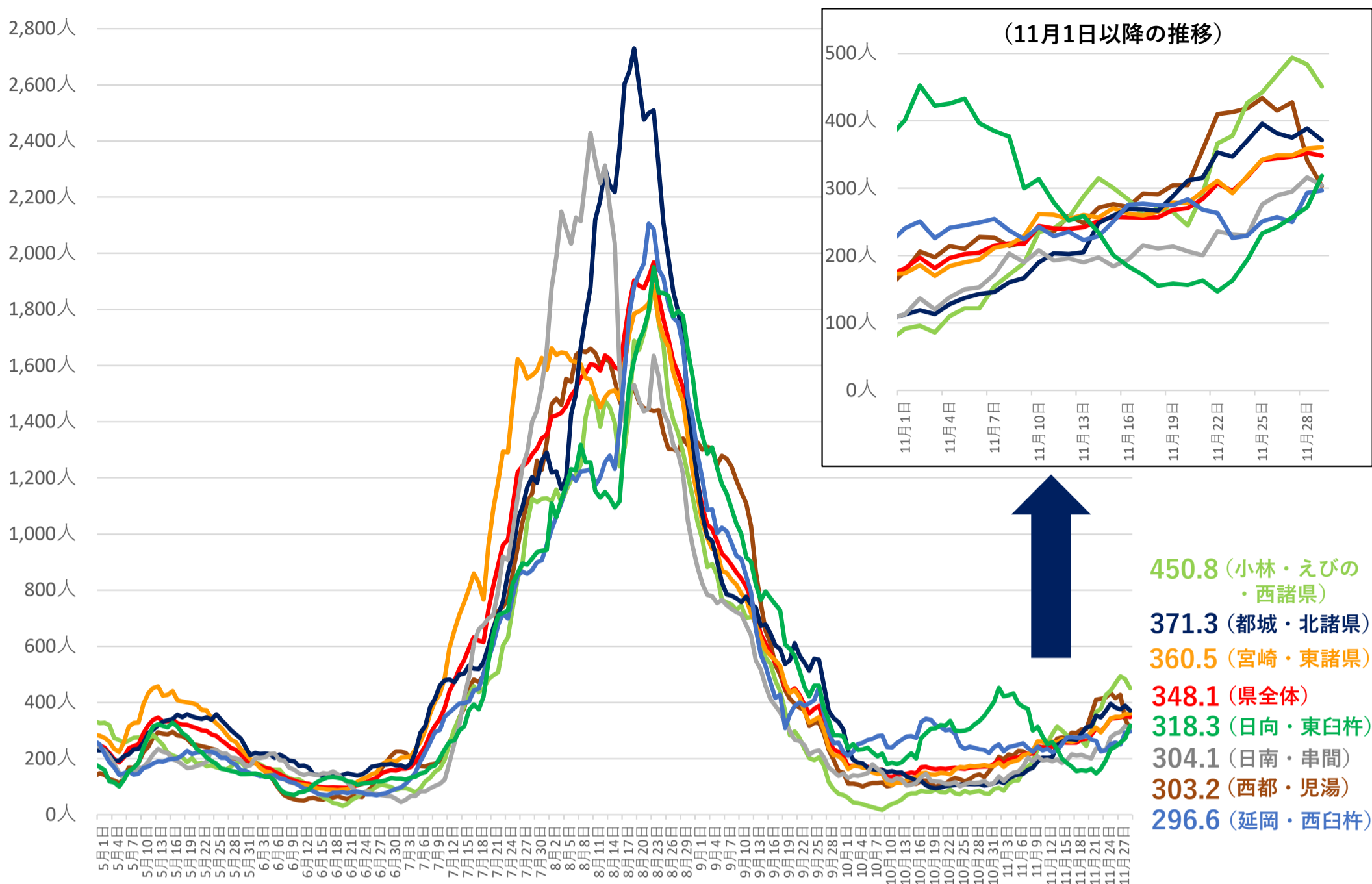
| 10~11月 ※前週との比較           |                           |                           |                           |                           |                           |                           | 2022（令和4年）            |
|--------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 日                        | 月                         | 火                         | 水                         | 木                         | 金                         | 土                         | 1週間合計                 |
| 16<br>84人<br>-35 (0.7倍)  | 17<br>368人<br>+234 (2.7倍) | 18<br>329人<br>+17 (1.1倍)  | 19<br>253人<br>-62 (0.8倍)  | 20<br>222人<br>-38 (0.9倍)  | 21<br>289人<br>+33 (1.1倍)  | 22<br>187人<br>-21 (0.9倍)  | 1,732人<br>+128 (1.1倍) |
| 23<br>113人<br>+29 (1.3倍) | 24<br>396人<br>+28 (1.1倍)  | 25<br>292人<br>-37 (0.9倍)  | 26<br>241人<br>-12 (1.0倍)  | 27<br>269人<br>+47 (1.2倍)  | 28<br>303人<br>+14 (1.0倍)  | 29<br>207人<br>+20 (1.1倍)  | 1,821人<br>+89 (1.1倍)  |
| 30<br>118人<br>+5 (1.0倍)  | 31<br>398人<br>+2 (1.0倍)   | 1<br>392人<br>+100 (1.3倍)  | 2<br>411人<br>+170 (1.7倍)  | 3<br>104人<br>-165 (0.4倍)  | 4<br>461人<br>+158 (1.5倍)  | 5<br>270人<br>+63 (1.3倍)   | 2,154人<br>+333 (1.2倍) |
| 6<br>142人<br>+24 (1.2倍)  | 7<br>508人<br>+110 (1.3倍)  | 8<br>428人<br>+36 (1.1倍)   | 9<br>402人<br>-9 (1.0倍)    | 10<br>387人<br>+283 (3.7倍) | 11<br>422人<br>-39 (0.9倍)  | 12<br>263人<br>-7 (1.0倍)   | 2,552人<br>+398 (1.2倍) |
| 13<br>169人<br>+27 (1.2倍) | 14<br>605人<br>+97 (1.2倍)  | 15<br>494人<br>+66 (1.2倍)  | 16<br>398人<br>-4 (1.0倍)   | 17<br>383人<br>-4 (1.0倍)   | 18<br>425人<br>+3 (1.0倍)   | 19<br>377人<br>+114 (1.4倍) | 2,851人<br>+299 (1.1倍) |
| 20<br>199人<br>+30 (1.2倍) | 21<br>750人<br>+145 (1.2倍) | 22<br>738人<br>+244 (1.5倍) | 23<br>279人<br>-119 (0.7倍) | 24<br>603人<br>+220 (1.6倍) | 25<br>695人<br>+270 (1.6倍) | 26<br>404人<br>+27 (1.1倍)  | 3,668人<br>+817 (1.3倍) |
| 27<br>223人<br>+24 (1.1倍) | 28<br>813人<br>+63 (1.1倍)  | 29<br>691人<br>-47 (0.9倍)  | 30                        | 1                         | 2                         | 3                         | 1,727人                |

## 直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数



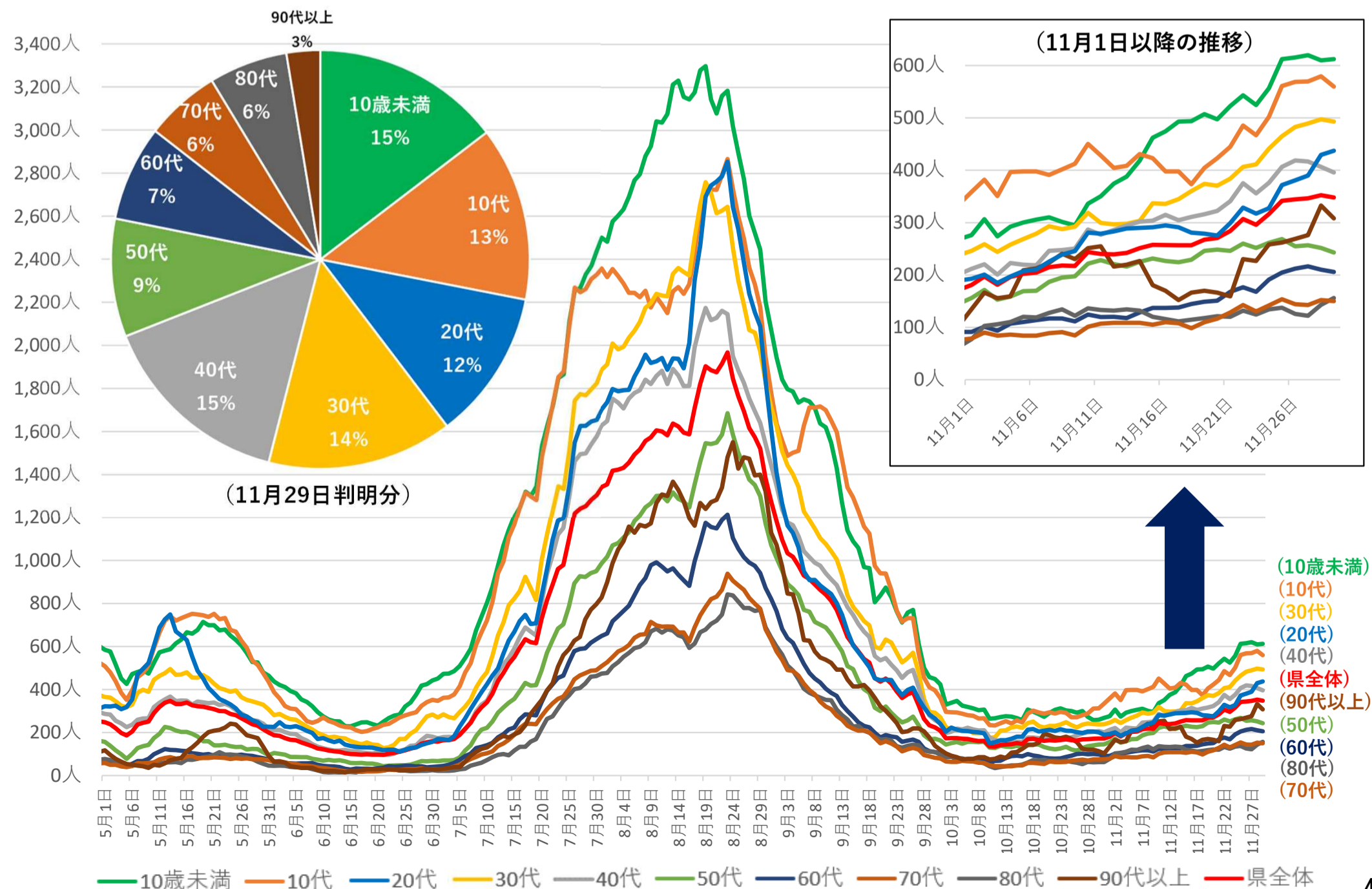
# 各圏域別の感染状況

(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数)

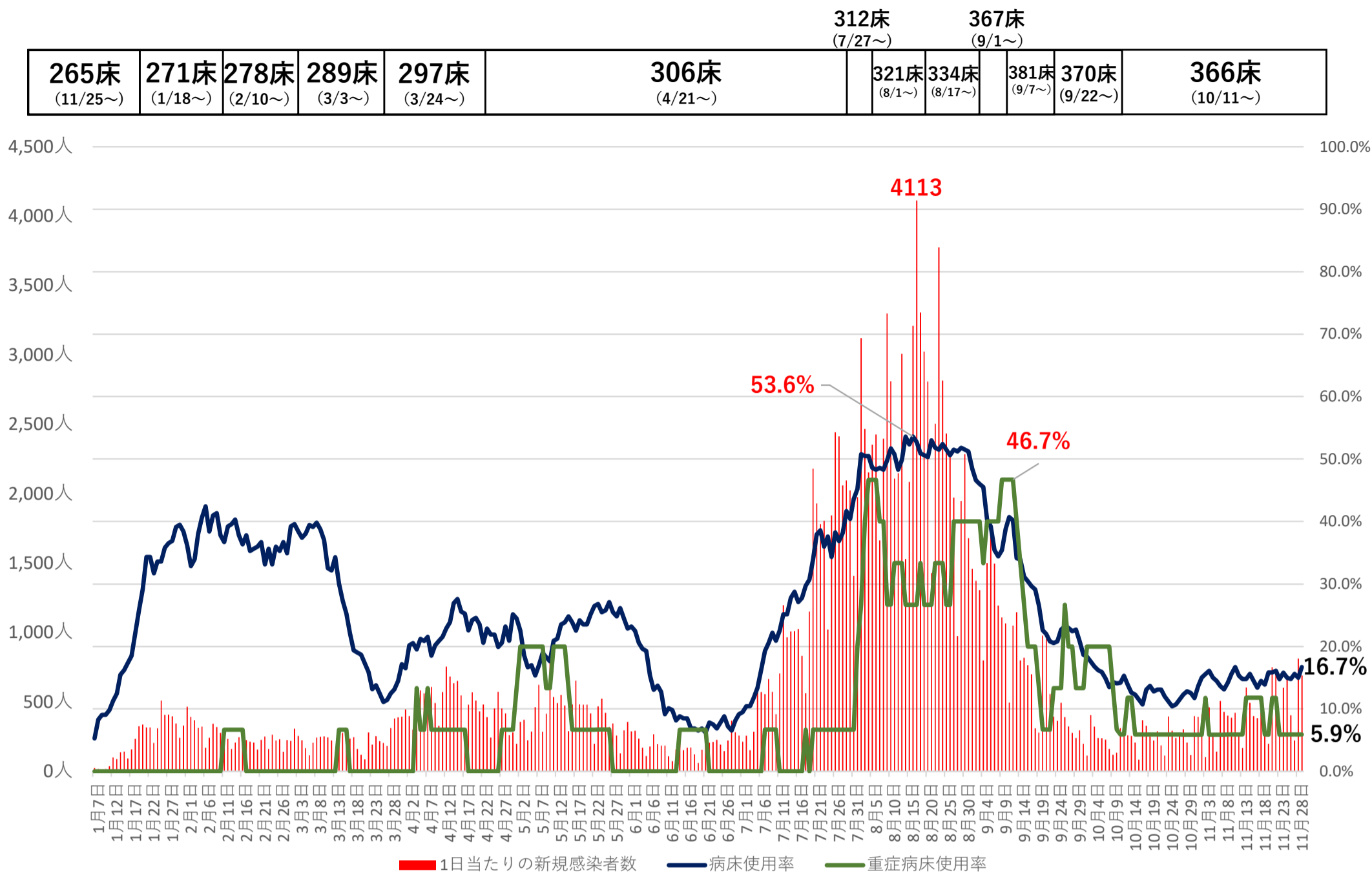


# 各年代別の感染状況

(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数)



# 新規感染者数と病床使用率の推移



※病床使用率、重症病床使用率は、新型コロナウイルスの確保病床における入院患者をベースに算定

## 今後の方針について（案）

### 基本的な考え方

年末年始に向けて、感染の再拡大に加え、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念される中、第7波までの知見を踏まえ、同時流行にも対応可能な外来等の保健医療体制を構築するとともに、オミクロン株対応ワクチン等の接種の加速化を図る。

その上で、ウイルスの病原性の変化や爆発的な感染拡大により、医療機能が不全に至る恐れが無い限りは、強い行動要請は行わず、社会経済活動を維持しながら、一定の感染を受け止め、医療のひっ迫を防いでいく。（ただし、感染者数が膨大な数になり、せい弱な本県医療が機能不全に陥る恐れが生じる場合は、行動制限を含む感染拡大防止措置の実施など、状況に応じた対応を行う。）

今後の対策

①検査体制の拡大

②保健医療体制の強化

③オミクロン株対応ワクチン等の接種の加速化

# 本県の同時流行下における患者数等の想定

## ■国の通知に基づき、次のとおり推計

第7波ピークの  
約1.2倍

※第7波ピーク時の1週間の  
1日平均患者数：2,994人

### 【1日当たりの推計患者数（ピーク時）】

|                  |        |                                   |
|------------------|--------|-----------------------------------|
| 新型コロナウイルス感染症患者数  | 3,746人 | ※第7波の沖縄県の感染状況から算定                 |
| 季節性インフルエンザ患者数    | 4,770人 | ※コロナ流行前の過去5年間に於ける本県のピーク時の感染状況から算定 |
| 患者数合計            | 8,516人 |                                   |
| 陽性者登録センターでの登録患者数 | 926人   | ※コロナ患者のうち約25%は、陽性者登録センターの利用を想定    |
| 外来診療による推計患者数     | 7,590人 |                                   |

## ■アンケート結果に基づき、次のとおり推計

### 【1日当たりの外来診療対応可能人数（ピーク時）】

|                |         |  |
|----------------|---------|--|
| 外来診療対応可能人数（平日） | 13,654人 | ※医療機関への調査結果をもとに算定<br>(879医療機関のうち537医療機関から回答) |
|----------------|---------|--|

## 検査体制の拡大

### （1）高齢者施設等における集中的検査の実施

- これまでの高齢者施設や障がい児・者施設に加え、新たに医療機関や学校等を対象に、抗原検査キットを配布し、職員の集中的検査を実施

【実施期間】 12月5日（月）～2月26日（日）

【実施回数】 週に2回程度

### （2）無料検査体制の確保

- 感染に不安のある県民向けの無料検査の継続

| 医療機関 | 薬局 | その他の検査所 | 合計 |
|------|----|---------|----|
| 27   | 48 | 13      | 88 |

### （3）新たな変異株の発生動向の監視

- 衛生環境研究所におけるゲノム解析の実施

# 保健医療体制の強化①（診療・検査医療機関の強化）

## （1）診療・検査医療機関（発熱外来）の拡充

- ・第7波時点と比較して新たに**29医療機関**確保

| 第7波（7月時点） | 現在      |
|-----------|---------|
| 417医療機関   | 446医療機関 |

## （2）診療・検査医療機関（発熱外来）の診療時間の拡大

- ・11月以降、新たに**86医療機関**で診療時間を拡大

## （3）年末年始期間中の発熱外来体制の拡充

- ・年末年始に発熱外来を行う医療機関・薬局に対する支援を新たに創設

# 保健医療体制の強化②（陽性者登録センターの強化等）

## （1）陽性者登録センターの強化

- ・自己検査による登録可能人数の拡充（500人/日→900人強/日）
- ・外来医療ひっ迫時における検査キット直接配布の再開
- ・自宅療養者の症状悪化時の相談体制の強化（医師を新たに配置）



宮崎港での直接配布

## （2）重症化リスク等に応じた外来受診・療養への協力の呼びかけ

- ・ハイリスクの方や小学生以下の子どもには、体調異変時の早期の外来受診を促進
- ・ハイリスクの方以外については、抗原検査キットによる自己検査及び陽性者登録センターの活用を促進
- ・外来受診については、平日・日中の受診を呼びかけ

## （1）入院受入医療機関の拡充

- ・ 第7波時点と比較して新たに**8医療機関**確保

【圏域ごとの入院受入医療機関数】

| 圏域            | 宮崎<br>東諸県 | 都城<br>北諸県 | 延岡<br>西臼杵 | 西諸 | 西都<br>児湯 | 日向<br>入郷 | 日南<br>串間 | 計  |
|---------------|-----------|-----------|-----------|----|----------|----------|----------|----|
| 第7波<br>(7月時点) | 10        | 7         | 7         | 5  | 4        | 4        | 3        | 40 |
| 現在            | 14        | 7         | 8         | 7  | 4        | 4        | 4        | 48 |

※病床数（現在366床）については、感染状況や通常医療とのバランス等を踏まえ、適切に調整

## （2）高齢者施設等への往診体制の確保

- ・ 高齢者施設等に往診を行う医療機関への支援

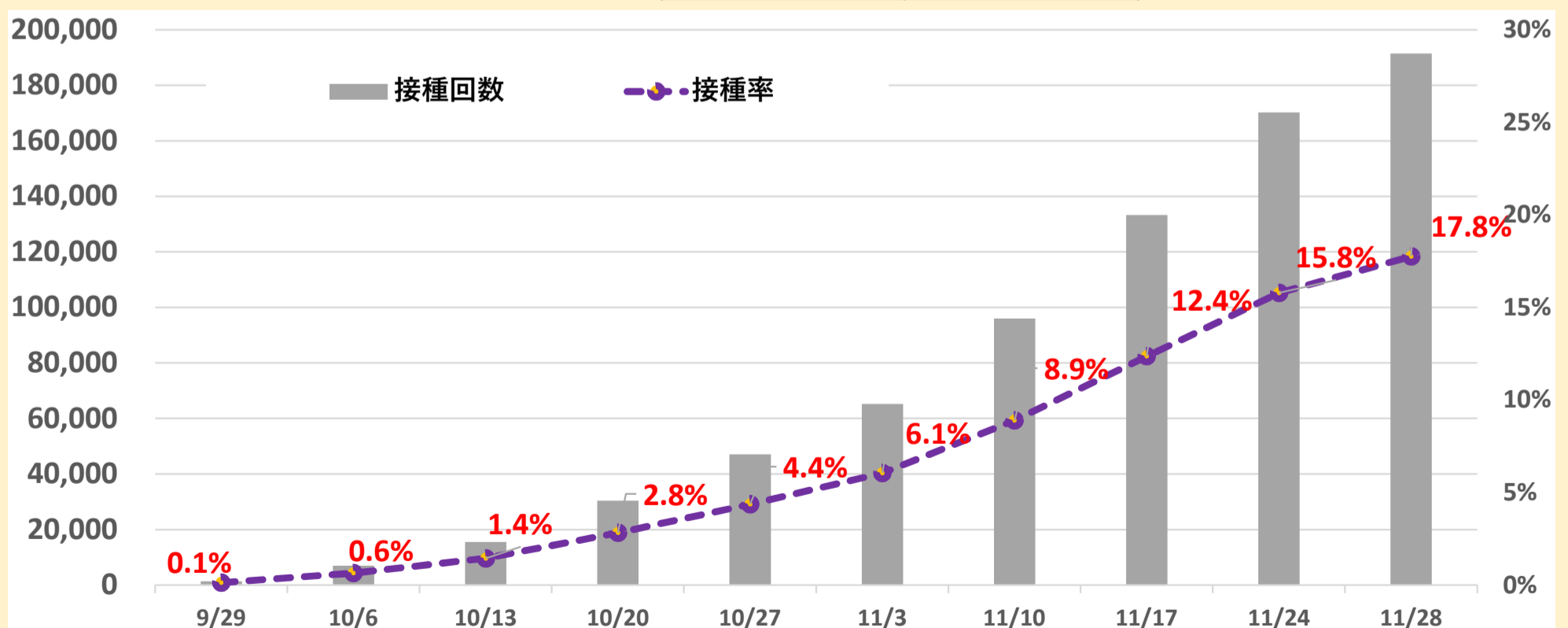
## オミクロン株対応ワクチン等の接種の加速化

### ○接種実績（令和4年11月28日現在）

・ オミクロン株対応（全人口ベース）

接種率

17.8%



感染や重症化を予防し、医療のひっ迫を生じさせないためには、

**オミクロン株対応ワクチンの年内接種が極めて重要**



## 小児（5-11歳）ワクチン接種

○接種実績（令和4年11月28日現在）

|     |       |     |       |     |      |
|-----|-------|-----|-------|-----|------|
| 1回目 | 25.9% | 2回目 | 24.7% | 3回目 | 6.1% |
|-----|-------|-----|-------|-----|------|

○ワクチンの効果等

- ・オミクロン株にも**高い入院予防効果を保持**
- ・**副反応は大人と比べ軽い傾向**

3回目接種後の  
オミクロン株に対する中和抗体価  
2回目と比べ**約22倍！**

## 乳幼児（6か月-4歳）ワクチン接種

（10月下旬頃から開始）

○ワクチンの効果

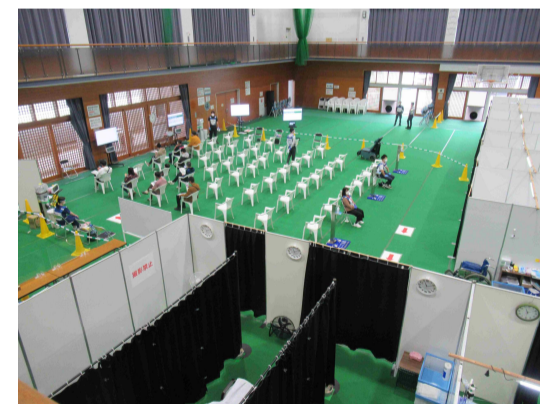
オミクロン株にも**高い発症予防効果**

# オミクロン株対応ワクチン等の接種の加速化

## ■オミクロン株対応ワクチンの接種促進

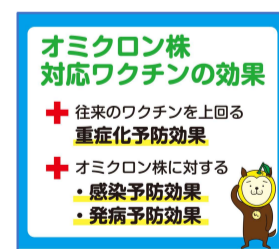
【大規模集団接種の実施】

- ・設置期間の延長（12月23日まで）
- ・金曜夜間・土曜の実施
- ・予約なし接種の実施



【広報の強化】

- ・SNS等を活用した情報の提供
- ・市町村に対する集団接種や夜間・休日接種の働きかけ
- ・イベント等でのチラシ配布



## ■小児・乳幼児のワクチン接種促進

【広報の強化】

- ・学校や保育所等を通じた保護者に対するワクチンの効果や副反応等に関する情報の提供
- ・新聞等による情報の提供

